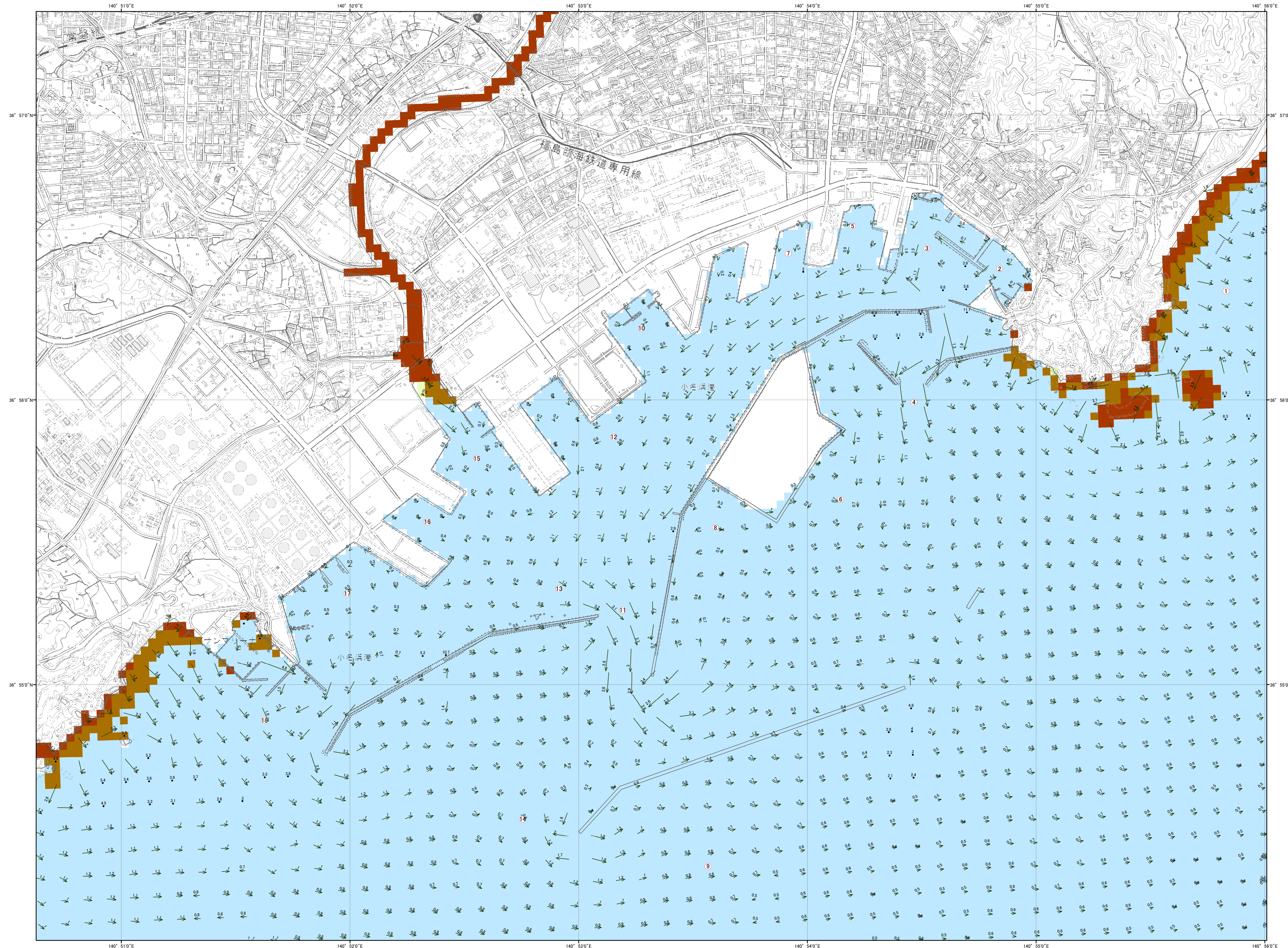


計算条件: 最低水面 (零位)  
隆起量: 平均 -0.09m (-0.10m ~ -0.08m)  
Z<sub>0</sub>: 0.84m  
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系: メルカトル図法  
測地系: 世界測地系 (WGS84)



凡例

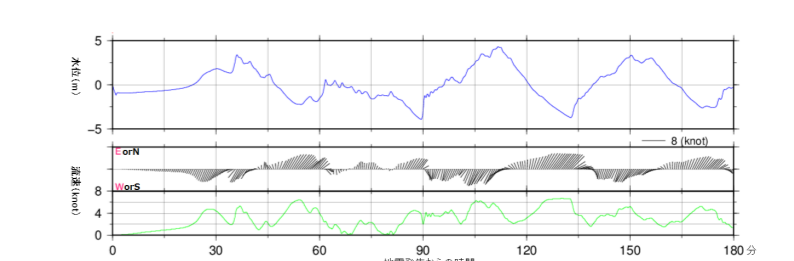
最大水位低下

- 0.5~最大1.5m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を各図の経時変化図で示す。)

(例) 水位、流向・流速経時変化図



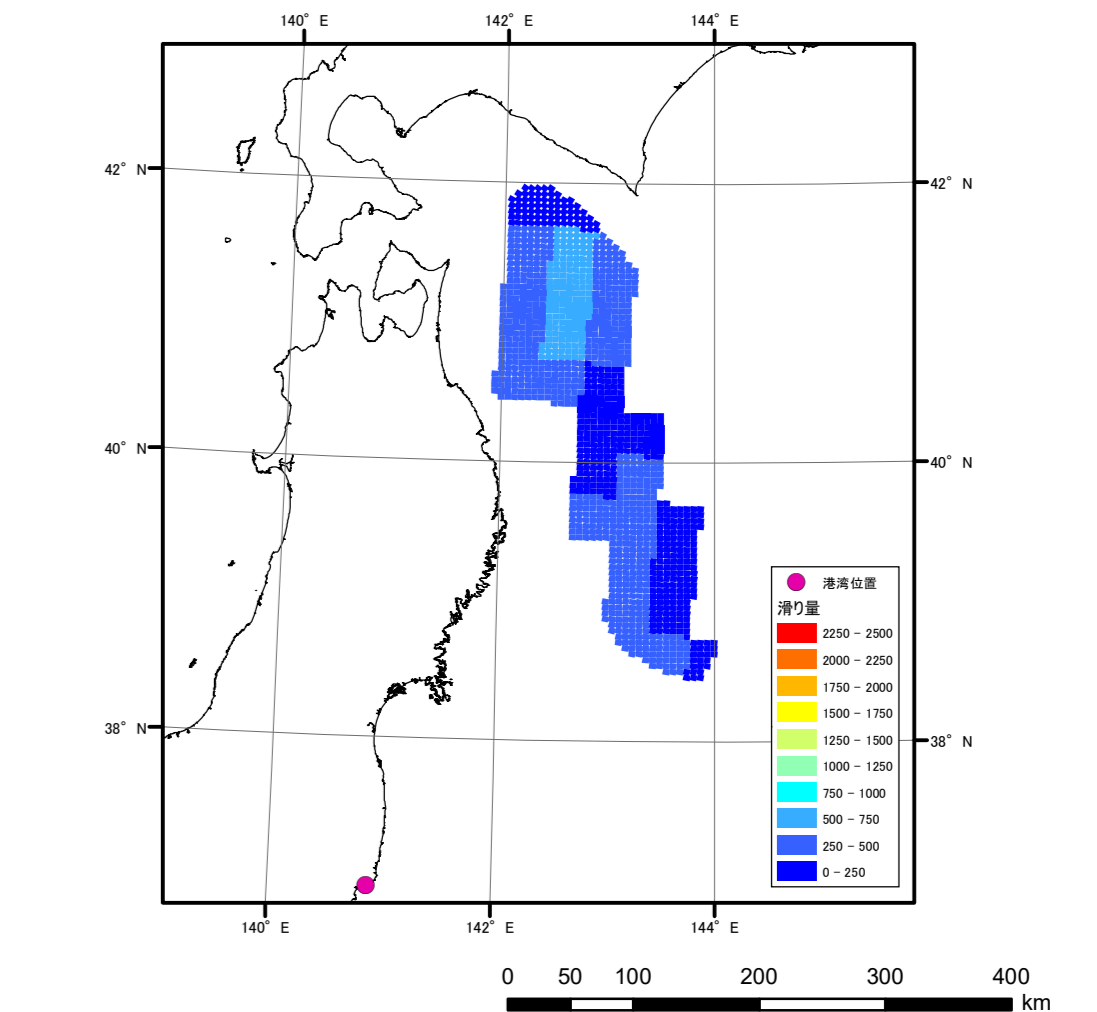
引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw	8.4
-----------------	-----

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高) 及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情覆 第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。